

環境・農水常任委員会資料
平成25年(2013年)6月24日
琵琶湖環境部

平成25年度6月補正予算

主 な 事 業 概 要

琵琶湖環境部

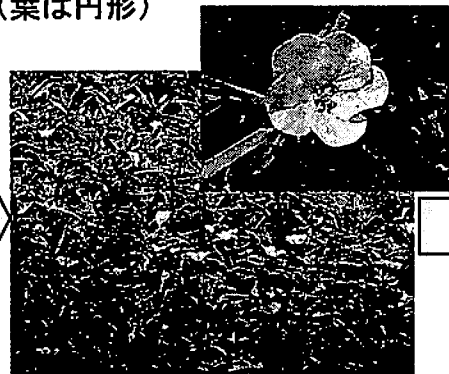
事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
<p>【自然環境保全課】</p> <p>自然環境保全推進費</p>	<p>7,487 (88,630)</p> <p>繰 7,487</p>	<p>1 外来生物調査隊“エイリアン・ウォッチャー”事業 7,487 緊急雇用対策として、これまで実施した当該事業の調査結果をもとに、アライグマ、ハクビシンの外来獣や昨年度に目撃情報が増加しているヌートリアについて補完調査、駆除を実施する。植物については、オオバナミズキンバイの調査および駆除を実施する。</p> <p>55,451 → 62,938 オオバナミズキンバイの駆除作業回数の追加による増</p>
<p>【流域下水道事業特別会計】</p> <p>処理区管理費</p>	<p>6,770 (7,070,713)</p> <p>繰 6,770</p>	<p>1 淡海環境プラザ管理運営費 6,770 淡海環境プラザスタートアップ事業 緊急雇用対策として、今年度オープンした淡海環境プラザのスタートアップを促進するため、新たに下水道事業や技術をPRするパンフレットの作成や展示の企画・作成等を実施する。</p> <p>0 → 6,770</p>

新たな侵略的外来水生植物「オオバナミズキンバイ」

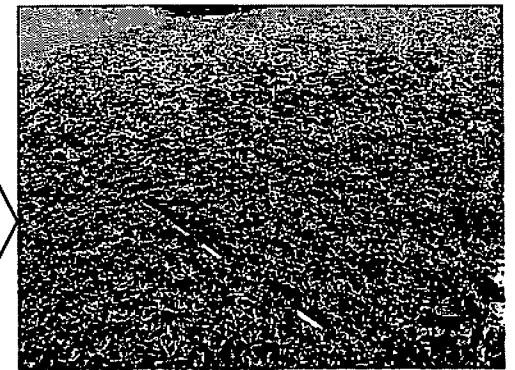
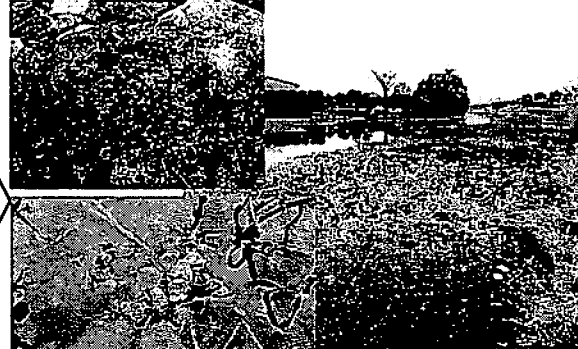
環境・農水常任委員会
平成25年(2013年)6月24日
琵琶湖環境部自然環境保全課

■生育

3月から4月ごろ(葉は円形)



12月ごろ(水辺ならば陸上でも生息可能)



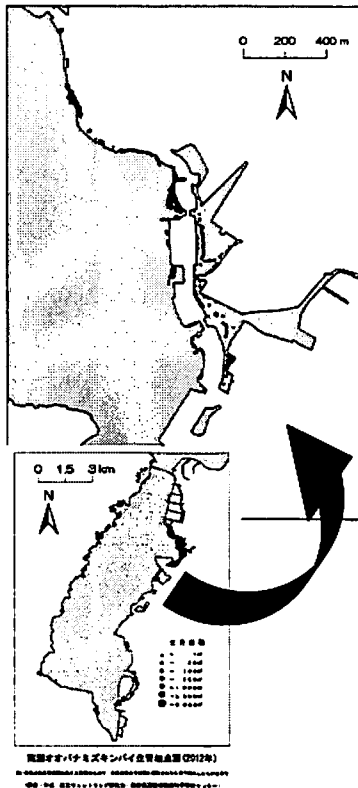
5月から6月ごろ(密生、マット状)

6月から9月ごろ(直径5cm程度)

2月から3月ごろ(水面より上は枯れる)

今年の状況

■生息状況



①琵琶湖への侵入状況 (【 】は対2009年比)

- ・2009年12月赤野井湾で確認(約142m²※)
- ・2010年11月雄琴湾や矢橋中間水路で生息を確認
- ・2010年11月赤野井湾で調査(約478m²※)【3.4倍】
- ・2011年12月赤野井湾で調査(約1,638m²※)【11.5倍】
- ・2012年3月赤野井湾等で調査(約4,200m²※)【30倍】
- ・2012年12月赤野井湾等で調査(約18,000m²※)

【生息面積に係る留意事項】

※2012年12月の調査は琵琶湖環境科学センター等が実施。それ以外は、ボランティアによる調査。生息面積は目測等による算出で相応の誤差を含む。

②考えられる影響

- ・ヨシ帯など産卵場所への魚類の移動を阻害。
- ・太陽光を遮断するため、底生生物の生育を阻害。
- ・植物の根本に侵入した場合、生育を阻害。
- ・漁港や漁場へ侵入した場合、漁船の航行阻害。
- ・水流を滞らせるため、水の循環を阻害。
- ・近縁種と交雑して希少種の損失。

■駆除等活動



①玉津小津漁協、豊穂の郷、大学生、近江ウェットランド研究会など



②県委託業者による駆除作業

当初分 週4日×4週×6ヶ月 ×9人= 864人日
 増加分 週4日×4週×(6ヶ月+2ヶ月)×9人=1,152人日(+288人日)